行政改革の進捗状況

平成二十八年三月に策定しました「第五次豊山町行政改革大綱」の取組事項について、平成二十八年度の進捗状況をお知らせします。

1　時代の変化に対応できる人材の確保・育成（人材改革）

①人材育成の推進

職員研修計画に基づき、管理職候補の養成や新規採用職員の育成を中心とした各種研修を実施しました。

②女性職員の活躍推進

女性が活躍すべき時代であることを明確にし、昇進や組織への貢献意欲を高めるための研修を実施しました。

③給与制度の適正化

人事院勧告制度を尊重し、給与改定等を行いました。

④定員の適正管理

平成二十九年四月一日現在の職員数の合計は百三十五名となり、平成二十八年度からの増減はありませんでした。

⑤人材の確保

事務職・保育士職の採用試験において、職務経験者枠を新たに設けました。

2　働きやすい職場環境の構築（職場改革）

①生活と仕事の調和に向けた取組

全庁一斉ノー残業デーを設け、安全衛生委員会による巡回指導を行いました。また、年次有給休暇の取得促進を図りました。

②メンタルヘルス対策の実施

ストレスチェックを全職員に実施し、高ストレス者のうち面談を希望する者が気軽に相談できる体制を整えました。

③職員の意欲向上

職員提案制度の導入に向け、他市町村の情報を収集し、町の現状に即した制度構築を検討しました。

④事務・事業の見直し・効率化

役場庁舎等において電力供給先を新電力に変更し、電気料金の削減に努めました。

3　健全で持続的な行財政運営（行財政改革）

①指定管理者制度の評価・検討

学習等供用施設、スカイプール、青山保育園・さざんかを指定管理者により運営しました。

②民間委託の推進

町のマイクロバスの運行を引き続き民間委託しました。

③歳出の削減

職員環境保全行動指針に基づき、日常的経費の節減や低燃費車への切替えを行いました。

④財源の確保

新たな自主財源の確保に向け、ふるさと寄附金で返礼品の贈呈等を検討し、平成二十九年度から実施することとしました。

4　町民主体のまちづくり（協働改革）

①地域協働の推進

「町の魅力と豊山町を有名にするためのPR方法」、「町民討議会議の今後」をテーマとし、町民討議会議・シンポジウムを開催しました。平成二十八年度からは、まちづくりサポーターも運営に参加しています。

②町民主体の組織づくり

まちづくりサポーターの事業を協働により実施しました。また、NPO法人化に向け事務手続きを支援しました。

▼問合せ　総務課総務・人事係　☎28・6003

◆人事異動（四月一日付け）◆

（　）は前職

◎部長級

【町長部局】

生活福祉部長　小川淳之（会計管理者及び会計課長兼出納係長）、産業建設部長　佐藤正司（防災安全課長兼防災安全係長）

◎教育参事

【教育委員会】

海川覚（愛知県教育委員会からの派遣職員）

◎次長級

【町長部局】

総務部次長兼総務課長　小川徹也（総務課長）、生活福祉部次長兼保険課長兼地域包括支援センター所長兼包括支援係長　堀尾政美（地域振興課長兼航空館館長）

◎参事

【町長部局（産業建設部）】

森匡孝（愛知県からの派遣職員）

◎課長級

【町長部局】

防災安全課長兼防災安全係長　小塚和宣（総務課係長）、税務課長兼収納係長　牛田彰和（税務課長）、住民課長　日比野敏弥（議会事務局長）、福祉課指導保育士兼豊山保育園園長　小辻紀代美（福祉課指導保育士）、地域振興課長兼航空館館長　高桑悟（保険課長兼地域包括支援センター所長兼包括支援係長）、建設課長　井戸茂治（総務課企画財政・情報係技術専門員）、会計管理者及び会計課長兼出納係長　青井宏司（教育委員会事務局学校教育係長）

【教育委員会】

教育委員会事務局長　安藤憲司（総合福祉センター所長兼しいの木児童センター館長兼ひまわり児童館館長兼総務係長）

【議会事務局】

議会事務局長兼庶務・議事係長　安藤真澄（議会事務局庶務・議事係長）

◎出先機関の長級

【町長部局】

冨士保育園園長　河村比奈子（冨士保育園副園長）

◎係長級

【町長部局】

豊山保育園園長代理　江口芳江（豊山保育園主任保育士）、豊山保育園副園長　水野千鶴（豊山保育園主任保育士）、冨士保育園副園長　加藤信子（冨士保育園主任保育士）

【教育委員会】

教育委員会事務局学校教育係長　下村友美（総務課主査）、教育委員会事務局生涯学習係長　石黒正規（税務課収納係長）